

九州工業大学にご入学おめでとう

〓 大きな感動を学生時代に体験しましょう! 〓

一般社団法人明専会 会長 高原 正雄 (機43)



一般社団法人明専会を代表して、皆さんの九州工業大学入学を心よりお祝い申し上げます。併せて、明専会へご入会していただきましたことに歓迎の意を表します。

ご家族の皆さまもこのよき日を大変喜ばれておられることと拝察いたします。おめでとうございます。

世界中を大混乱に陥れた新型コロナウイルスのせいで、学部に入學された皆さんも、大学院に進学された皆さんも、この3年間の大切な学生生活を随分と不自由に過ごされたものと拝察いたしますが、これからの学生生活を大いにエンジョイできま

すよう祈っております。

九州工業大学は、今から14年前に、九州の炭鉱王・安川敬一郎翁が巨額の私財を投じ、教育界の巨星・山川健次郎先生を総裁に迎えて設立した私立明治専門学校(明専)に始まりました。安川敬一郎翁は、常に報国の至誠に燃え、国家隆盛のもと、まずは人材育成であるという理念を持っておりました。一方、山川健次郎先生は、会津白虎隊出身で、日本初の理学博士、東京帝国大学第6代総長の経歴を有した教育界の巨星でしたが、安川敬一郎翁の崇高な報国精神に深く感銘し、自らが理想とした教育『技術に堪能な士君子の育成』、すなわち、会津武士道に通じる教育を、九州のこの地にて実践いたしました。厳格な教育を受けた先達の多くは、世のため人のために生涯を捧げ、国内外における産業界、教育界、政界などで著しく貢献されました。それが『名門・明専』と言われる続けてきた所以でもあります。その卒業

生から成る明専会は、同窓の絆と母校支援を事業の柱とする社団法人であります。母校支援の仕方は、明専会らしい内容を、常に大学と連携して行うということで、学生にとっても大いに有益なものになっております。明専会は、皆さんが国際的に通用するプロフェッショナル・エンジニアに成長するために最大限の支援を行って参ります。

さて、皆さんがこの九州工業大学で工学に関わる専門的な学問や研究に専心していく中で、特に体験していただきたいのは、自分の頭で課題が何なのかを発見することであり、これを多く体験した者こそ、一流のエンジニアとして活躍できるものであると思います。そして、その体験の中で必ず大きな感動も伴います。感動をすると脳内に感動粒が形成されると言われています。大きな感動は大きな感動粒になり、小さな感動は小さな感動粒になります。いずれも時間の経過とともに小さくなり、小さい物はその内に消滅してしまいますが、大きな物は死ぬまで消滅しないうで残るわけです。この感動の体験は、皆さんが将来エンジニアとし

て生きていく中で大きく影響を及ぼし続けるものであります。したがって、学生の間に、そして、若きエンジニアの内に、とても大きな感動を経験しておくことが重要であるわけです。そのためにも、ほうーとしたまま大学生活を過ごすのではなく、常に向上心をもって学業生活に励まれることが大切です。

最後に、工学の道を選んだ皆さんの使命についてですが、工学の「工」の字の、上の横棒「一」は、森羅万象の営みを表し、下の横棒「一」は、人民社会の営みを表す、そして、それを繋ぐ縦棒「丨」が、工学の真意であるわけです。すなわち、自然界におけるあらゆる現象を解明して、行う学問であります。これは、重要な技術者倫理でもあります。このことをしっかりと認識し、高度な学問を身に付けたエンジニアになっていたいただきたいと思えます。近年、名門企業が起こした技術不正事件の多くは、このことの欠如からであります。それでは、皆さんよい学生生活を送ってください。

(いすゞ自動車(株)理事)